

# たはらエコ ガーデンシティ構想

もっと地球にやさしく もっと豊かさを実感できるよ

田原市は、太平洋と三河湾に面する自然豊かな環境の中で、農業・工業の両面で全国有数の産業都市として、目覚ましい発展を遂げてますが、近年は、三河湾や汐川の水質汚染、遊休農地の荒廃などの環境問題が表面化しています。また、地球規模では、石油などの使用によって引き起こされている地球温暖化、人口増加による食糧危機・エネルギー危機などの問題が、今世紀中には、私たちに降りかかってくるといわれています。

そこで市では、私たちの地域にある渥美半島特有の強風、豊富な日照、農業系資源、廃棄物などを利用し、これらの問題に対処しようと、既に取り組みを始めている事業やこれから実現しようとして検討している事業を組み合わせ、環境と調和した持続的な地域発展を目標とする「たはらエコ・ガーデンシティ構想」を策定したところ、国から環境共生まちづくりモデル提案に選ばれ（応募167カ所中7カ所）その実現を目指すことになりました。構想は「菜の花エコプロジェクト」「廃棄物リサイクルプロジェクト」「エコエネルギー導入プロジェクト」の3本柱で構成されており、今年度策定する推進計画により、いよいよ本格的に実現を図っていきます。

なお、たはらエコ・ガーデンシティの取り組みを、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」の際に情報発信し、環境に取り組む田原市の姿勢を広く国内外にPRします。

企画課 ☎23局3507

## 1 菜の花エコプロジェクト

### 美しい景観と農地の保全

#### 遊休農地に菜の花畑を

全国有数の農業地帯にありながら、耕作が放棄される農地が増えています。そうした遊休農地に菜の花を栽培することで、美しい景観を創造すると同時に農地の荒廃を防ぎます。また、回復した農地を大規模経営農家に供給することも目標としています。

### 菜種油の資源化

#### 食用油と公用車の燃料に

収穫した菜種を搾油して学校給食の調理に利用します。また、その廃食用油を精製して公用車（ディーゼル車）の燃料として使用することで、石油燃料の削減を図ります。公用車から排出される二酸化炭素は、次に栽培する菜の花が光合成で吸収し、循環サイクルを構築します。

### 美しい景観と農地の保全

#### ぐるりんバスの燃料に

家庭などで不要となった食用油を回収・精製して、市内巡回バスの燃料として使用します。また、鉄道駅周辺に公共駐車場を整備することで、マイカー使用が自粛できる公共交通体制の実現を目指します。